

# 支店別議案説明会質疑応答

9月10日から13日まで、管内14会場で支店別議案説明会を開きました。各会場では、組合員の皆さまから貴重なご意見・ご質問が多数出されましたので、その一部をご紹介いたします。

**Q.** 北カントリーエレベーター（以下、北CE）の混み具合は、以前と比べて何%改善できるのか。

**A.** 旧黒石・田舎館CEでは混み合う時は荷受待ち時間が1〜2時間でありましたが、北CEについてはトラックスケールでの対応となり、一台につき10分程度で終了できるようになります。ただし、3地区対応という事と集団について一台のトラックに複数の出荷者で搬入する場合、トラックスケールの対応に時間がかかるので集団については、出荷者ごとの搬入をお願いしている所であり、現時点で改善率を%で表すことはできません。

**Q.** 主要農産物種子法の廃止とはどのような事か。

**A.** 主要農産物種子法（米・大豆・小麦・そば等に適用）は廃止となり、種苗法での管理となりました。しかし、運用等については青森県で要領を制定し対応するため、現状と変わらない運用となります。

**Q.** 黒星病の特効薬についていろいろ出来るのか。

**A.** 現在、治療薬はないが2社ほどが開発中です。これから登録申請が行われますが、通常は4〜5年、早くても3年ほどかかると思われれます。

**Q.** 黒星病について、新聞に被害化率0.4%と載っていたが、これについて見解を伺いたい。

**A.** これについては疑問に思っています。調査した地域は何処なのか、またりんご協会による調査では5%〜7%という数字も出ていますので、0.4%というのはどうかと思います。また県の調査では、津軽地区に被害が多く、県南では非常に少ないということなので県全体では被害が薄くなっている気がします。それと摘果前と摘果後でも数値は変わってきますので、このことも影響があるとは思っています。

**Q.** りんご選果機について、将来的に新しい機械を導入する計画はあるのか。

**A.** 選果場については考えています。補助金、用地を含めて検討中です。国、全農の補助金等を活用して建設をしたいが時期についてはまだ未定です。四ヶ年計画書の集出荷体制の基盤強化に基づき取り組み進めてまいります。

**Q.** りんごの入庫・精算方法の統一化とはどのようなことなのか。

**A.** 入庫品目コードの統一と精算方法の統一を各センターで行うことで、精算の一本化ではありません。

**Q.** 農作業求人募集（農作業無料職業紹介）のチラシを見たが、その後どういった状況になっているのか。

**A.** 募集した所、去年3人・今年6月末には16人が求職者とのマッチングがあり、合意になっています。今後も継続していきます。

**Q.** りんご病害虫請負防除の実績を教えてください。

**A.** 面積で約6町歩、人数は12〜13人です。

**Q.** 大規模化を図った農家組合員は、JA以外の業者と取引を行う傾向にあると思うが、その点についてはどうか。

**A.** ご指摘の点については、JAとしても認識しているところですが、JAと業者は競合関係にあるわけですが、JAは指導事業あつての農業振興と考えておりますので、将来のビジョンを

**Q.** 外国人実習生について、どの国からどのような形で入ってきているのか。

**A.** 技能実習生として平成29年度は、黒石で15名、うち中国から11人、ベトナムから4名です。

**Q.** 後継者不足が問題となってきたりありますが、定期的に開催している「縁結び」事業などを、さらにパワーアップして取り組んでほしい。

しっかりと見据えて取り組んでまいります。

**Q.** 現状、職員数も減ってきており、施設の老朽化も進んでますが、支店統合等考えているのか。

**A.** 職員は募集してもなかなか入ってこないで、定年を65歳まで伸ばす方向です。ゆくゆくは、支店統廃合も考えております。



**Q.** 全国監査機構と監事監査との違いは何か、また総代会資料に、全国監査機構と監事監査の監査報告書は載っているが県の常例検査についてなぜ載っていないのか。

**A.** JAが行っている「縁結び」や、市町村などが行っているお見合い形式のものなど、さまざま開催しております。参加者が少ないなど課題は多くありますが、魅力ある企画を検討してまいります。

**Q.** 支店での購買品の引渡し時に伝票にサインをするようになったがその導入経緯について説明をして欲しい。

**A.** 県による常例検査については、青森県の団体経営改善課で実施する検査であり、全国監査機構は中央会、監事監査は監事が実施します。総代会資料には全国監査機構と監事監査について監査報告を載せることとなっております。

**Q.** 貸付の渉外についてはどのような仕事をしているのか。

**A.** 融資管理課に2名配属し主に住宅ローンについてメーカー巡回とTACと同行巡回し推進活動をしています。

**Q.** 農業所得の確保・農業者の所得増大とは具体的にどのくらいを想定しているのか。

**A.** 平年の所得が、1割2割でも上がれば所得の増大と考えています。

第10回通常総代会資料「正誤表」

頁	内 容	【正】		【誤】	
		種 類	当期取扱高 うち系統利用高	種 類	当期取扱高 うち系統利用高
50	販売事業 受託販売品取扱実績の表中、 当期取扱高のうち系統利用高の 種類「その他雑穀」合計	その他雑穀	117,245	その他雑穀	113,303
		合 計	23,262,976	合 計	23,259,034
55	剰余金処分案 (注)4.次期繰越剰余金のうち 営農指導、生活・文化改善事業 の費用に充てるための繰越額	繰越額	21,212,000円	繰越額	22,606,000円
81	事業管理費計画の表中、 人件費の役員退職慰労引当金繰 入額の本年度計画及び 人件費【役員退職慰労金】の追加	前年度実績 本年度計画 役員退職慰労金	576	前年度実績 本年度計画 役員退職慰労引当金繰入額	5,472 5,472
		役員退職慰労引当金繰入額	5,472 4,896		
82	総合財務計画の表中、 資産 5.固定資産(1)有形固定資産の (建物)と(土地)の本年度計画	本年度計画 (建 物)	(13,570,223)	本年度計画 (建 物)	(13,575,223)
		(土 地)	(3,355,845)	(土 地)	(3,350,845)
	負債 5.雑負債の本年度計画と(3) その他の負債の本年度計画	5.雑負債 (3)その他の負債	959,014 743,167	5.雑負債 (3)その他の負債	945,628 729,781
	6.諸引当金の本年度計画と (2)役員退職慰労引当金の本 年度計画	6.諸引当金 (2)役員退職慰労引当金	1,048,491 28,498	6.諸引当金 (2)役員退職慰労引当金	1,061,877 41,884

平成30年度～平成33年度 第四次協同活動強化四ヶ年計画「正誤表」

頁	内 容	【正】		【誤】	
		1年次	平成30年度	1年次	平成30年度
52	総合財務計画の表中、 負債 5.雑負債と6.諸引当金の 1年次平成30年度の金額	5.雑負債 6.諸引当金	959 1,048	5.雑負債 6.諸引当金	945 1,062
54	業務活動の表中、 ○指導事業の5項目目	食農教育活動		食農教員活動	

